

2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 コンバム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6265 URL <http://www.convum.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊勢 幸治
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊勢 幸治 (TEL) 03-3759-1491
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績 (2022年1月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	1,854	△1.4	483	17.4	515	19.3	372	27.4
2021年12月期第3四半期	1,880	16.9	412	70.7	431	67.2	292	71.5

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 368百万円(19.1%) 2021年12月期第3四半期 309百万円(123.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	239.08	—
2021年12月期第3四半期	187.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	5,853	5,430	92.1
2021年12月期	5,693	5,140	89.7

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 5,389百万円 2021年12月期 5,108百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2022年12月期	—	25.00	—		
2022年12月期(予想)				35.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年12月期の連結業績予想 (2022年1月1日～2022年12月31日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,447	△0.9	601	10.0	636	10.4	459	14.1	295.18

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 2022年12月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年12月期3Q	1,657,000株	2021年12月期	1,657,000株
2022年12月期3Q	100,448株	2021年12月期	100,416株
2022年12月期3Q	1,556,552株	2021年12月期3Q	1,556,584株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢の終息への筋道が見えない中での欧米各国による大規模な経済制裁や中国のゼロコロナ政策に起因するサプライチェーンの混乱は解消に時間がかかっております。また、エネルギー・食品・原材料の価格上昇等から、インフレを抑制するための各国中央銀行による政策金利の引き上げは、企業活動や消費活動にマイナスの影響を与えるとともに、為替相場の急変を招いており景気後退懸念が漂っております。

日本経済においては、新型コロナウイルス感染症の感染者数はピークアウトし行動制限の緩和による各種イベントの再開、さらに水際対策の緩和によるインバウンド需要の復活見込み等により明るい兆しが見える一方、急激な内外金利差を主な要因とした円安等により景気後退懸念が取りざたされ、経済や消費の先行きはより不透明になりました。このような環境下、当社グループは、既存製品の改良や将来を見据えた主力製品開発のための設備投資を推し進めました。販売面においては、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和による営業活動および展示会等への出展を再開し、半導体関連設備向け製品や物流業界および食品業界向けのロボット関連製品の販売に注力しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、連結売上高は1,854,369千円（前年同期比98.6%）、連結経常利益は515,235千円（前年同期比119.3%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は372,142千円（前年同期比127.4%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

世界的な半導体不足の影響も受け半導体設備関連の需要の高まりが顕著になりました。また、一般機械の設備稼働の増加を受け、メンテナンス需要も増加いたしました。販売面では、生産設備の省人化、自動化の流れを背景にロボットハンド関連製品を中心に営業活動を展開してまいりました。この結果、売上高は1,302,644千円（前年同期比98.2%）となりました。営業利益については421,282千円（前年同期比111.6%）となりました。

(韓国)

新型コロナウイルス感染症の長期化の不安要素はありましたが、半導体関連業界の設備投資の需要は底堅く推移しました。この結果、売上高は330,757千円（前年同期比93.9%）となりました。営業利益については31,359千円（前年同期比165.6%）となりました。

(中国)

新型コロナウイルス感染再拡大によりゼロ・コロナ政策を推進する中国では活動制限の継続により生産活動や社会経済活動も停滞するなど中国経済にも大きな影響が見られましたが徐々に活動制限が緩和され個人消費の底入れや工業生産の持ち直しが見られました。この結果、売上高は89,545千円（前年同期比87.1%）となりました。営業利益については3,463千円（前年同期比39.7%）となりました。

(その他)

タイ国内においては、自動車関連設備、食品関連設備への製品投入を積極的に行いました。タイ国周辺諸国では、半導体設備投資や電子部品の生産拡大を受け、新規及びメンテナンス部品の需要が拡大しました。また、米国子会社においては既存販売店への拡販活動を継続的に行い、この結果、売上高は131,422千円（前年同期比132.9%）となりました。営業利益については27,742千円（前年同期比380.8%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末において、流動資産は前連結会計年度末に比べ232,939千円増加し、3,225,445千円となりました。これは主として、電子記録債権が84,429千円減少したのに対し、現金及び預金が259,350千円、受取手形及び売掛金が60,122千円増加したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ72,884千円減少し、2,628,031千円となりました。これは主として、有形固定資産が46,030千円減少したことによります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ160,054千円増加し、5,853,477千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ110,364千円減少し、289,642千円となりました。これは主として、未払法人税等が56,468千円、流動負債「その他」が62,065千円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ19,716千円減少し、133,172千円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ130,080千円減少し、422,814千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ290,135千円増加し、5,430,663千円となりました。これは主として利益剰余金が294,314千円増加したことによります。

その結果、自己資本比率は92.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回予想（2022年2月14日）から修正しております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

今後、業績予想を修正する必要があると判断した場合には、適時に修正開示をいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,959,789	2,219,140
受取手形及び売掛金	272,961	333,083
電子記録債権	305,514	221,085
製品	189,270	195,384
仕掛品	119,453	127,447
原材料	101,888	97,135
その他	44,097	32,531
貸倒引当金	△469	△363
流動資産合計	2,992,506	3,225,445
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,781,904	1,788,355
減価償却累計額	△829,426	△876,739
建物及び構築物（純額）	952,477	911,616
機械装置及び運搬具	1,134,445	1,151,365
減価償却累計額	△789,060	△805,166
機械装置及び運搬具（純額）	345,385	346,199
土地	702,152	702,665
その他	752,203	756,878
減価償却累計額	△670,903	△682,073
その他（純額）	81,299	74,804
有形固定資産合計	2,081,315	2,035,284
無形固定資産	134,964	130,484
投資その他の資産		
投資有価証券	394,138	334,478
繰延税金資産	5,685	42,096
その他	84,812	85,687
投資その他の資産合計	484,636	462,262
固定資産合計	2,700,916	2,628,031
資産合計	5,693,422	5,853,477

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,259	37,947
未払法人税等	115,046	58,578
賞与引当金	25,207	44,519
役員賞与引当金	10,460	6,630
その他	204,032	141,967
流動負債合計	400,006	289,642
固定負債		
退職給付に係る負債	136,675	90,416
繰延税金負債	1,834	26,834
その他	14,377	15,920
固定負債合計	152,888	133,172
負債合計	552,894	422,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	748,125	748,125
資本剰余金	1,012,960	1,012,960
利益剰余金	3,305,460	3,599,774
自己株式	△119,724	△119,786
株主資本合計	4,946,821	5,241,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,906	82,572
為替換算調整勘定	29,323	66,055
その他の包括利益累計額合計	161,230	148,627
非支配株主持分	32,476	40,962
純資産合計	5,140,528	5,430,663
負債純資産合計	5,693,422	5,853,477

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	1,880,950	1,854,369
売上原価	863,230	835,731
売上総利益	1,017,719	1,018,638
販売費及び一般管理費	605,441	534,790
営業利益	412,278	483,847
営業外収益		
受取利息	1,619	1,548
受取配当金	7,372	10,253
受取地代家賃	9,506	9,134
為替差益	4,792	13,234
その他	3,600	4,562
営業外収益合計	26,891	38,734
営業外費用		
売上割引	174	130
減価償却費	5,678	5,680
その他	1,334	1,536
営業外費用合計	7,187	7,347
経常利益	431,982	515,235
特別利益		
固定資産売却益	371	692
投資有価証券売却益	—	3,907
特別利益合計	371	4,600
特別損失		
固定資産売却損	—	140
固定資産除却損	11,484	346
特別損失合計	11,484	486
税金等調整前四半期純利益	420,870	519,348
法人税、住民税及び事業税	127,994	131,502
法人税等調整額	△3,007	10,955
法人税等合計	124,986	142,458
四半期純利益	295,883	376,889
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,721	4,746
親会社株主に帰属する四半期純利益	292,161	372,142

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	295,883	376,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,150	△49,334
為替換算調整勘定	4,055	40,470
その他の包括利益合計	13,206	△8,864
四半期包括利益	309,089	368,025
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	306,640	359,539
非支配株主に係る四半期包括利益	2,448	8,485

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しています。

なお、収益認識会計基準の適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

この変更による利益剰余金の期首残高及び当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしています。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,326,952	352,338	102,775	1,782,066	98,884	1,880,950
セグメント間の内部売上高 又は振替高	192,488	70,916	—	263,404	—	263,404
計	1,519,441	423,254	102,775	2,045,471	98,884	2,144,355
セグメント利益	377,329	18,939	8,724	404,993	7,284	412,278

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	404,993
「その他」の区分の利益	7,284
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	412,278

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	日本	韓国	中国	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,302,644	330,757	89,545	1,722,946	131,422	1,854,369
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,302,644	330,757	89,545	1,722,946	131,422	1,854,369
セグメント間の内部売上高 又は振替高	143,573	48,614	—	192,188	—	192,188
計	1,446,217	379,371	89,545	1,915,135	131,422	2,046,557
セグメント利益	421,282	31,359	3,463	456,105	27,742	483,847

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「タイ」及び「米国」であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	456,105
「その他」の区分の利益	27,742
セグメント間取引消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	483,847